

## 号鐘の型式承認試験基準

| 製品試験    |   |   |         |   |   |     |
|---------|---|---|---------|---|---|-----|
| 試 験 方 法 |   |   | 判 定 基 準 |   |   | 備 考 |
| 1       | 1 | <p>外観検査</p> <p>材料、構造及び工作について、仕様書又は図面と照合して調べる。</p>   | 1       | 1 | <p>仕様書又は図面どおりであること。</p>                                 |     |
| 2       | 1 | <p>重量計測</p> <p>全重量及び打子（ストライカ）の重量を計測する。</p>  | 2       | 1 | <p>仕様書どおりであること。</p> <p>打子（ストライカ）の重量は、全重量の3%以上であること。</p> |     |
| 3       | 1 | <p>寸法計測</p> <p>各部の寸法を計測し、仕様書又は図面と照合する。</p>  | 3       | 1 | <p>仕様書又は図面どおりであること。</p>                                 |     |
| 4       | 1 | <p>音響特性試験</p> <p>無響室又は周囲に反射体のない場所で、手動により打子球を号鐘開口部の端部まで移動させ、さらにその端部に対向する端部に直線的に打ち当てて鳴らし、開口面を含む水平面上で開口面の中心から1mの距離における最大音圧レベル（C特性）を測定する。</p> | 4       | 1 | <p>音圧レベルは110dB以上であること。また澄んだ音色であること。</p>                 |     |

